

第137回米子市農業委員会農地部会議事録

招集年月日	平成28年8月4日(木)										
招 集 場 所	米子市役所 402会議室										
開 会	午後1時30分										
出席委員	1 番 生田 英夫委員	2 番 森田 正敏委員	3 番 友森 一夫委員	4 番 吉澤 一誠委員							
	5 番 安達 卓是委員	6 番 森中 喜輝委員	7 番 田口 正廣委員	8 番 仲本 悟委員							
	9 番 小林 秀美委員	10 番 新納 勝美委員	12 番 山中 春夫委員	13 番 井田 律子委員							
	14 番 松林 貢委員	15 番 大縄 敬次委員	16 番 高橋 敦美委員	17 番 三島 通政委員(部会長)							
欠 席	11 番 矢倉 篤實委員										
事 務 局	高西会長	池口事務局長	宅和係長	河野主幹	山本主幹	長谷川主任					
日 程	1 農地法各条申請地現地調査										
	2 部会長あいさつ										
	3 議席の決定										
	4 議事録署名委員の指名										
	5 議事										
	(1) 農地法各条申請審議等										
	ア 第20号 農地法第3条第1項の規定による許可申請に対する意見具申について										
	イ 第21号 農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見具申について										
	ウ 第22号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見具申について										
	エ 第23号 農業振興地域の整備に関する法律に基づく農用地利用計画の一部変更に係る意見照会に対する 回答について										
	オ 第24号 米子市農用地利用集積計画の決定について										

カ 第25号 農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農用地利用配分計画に係る意見照会に対する回答について

6 報告事項

- (1) 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出書の受理について
- (2) 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出書の受理について
- (3) 農地法第18条第6項の規定による通知書の受理について
- (4) 非農地現況証明について
- (5) 農地等の現況に係る照会に対する調査結果について
- (6) 農地転用現況確認書の交付について
- (7) 県農業会議会議員の事務報告
- (8) その他

議事開始 午後2時40分

議長（三島委員）

そうしますと、現地調査に引き続き、第137回の農地部会を開きます。

今日は初部会ということで、挨拶したいと思います。先月行われました農業委員会総会で大変重要な役割を引き受けることになりました。私は農業一筋に仕事をしておりましたため、こういう部会の議長というのは経験ありません。これから会を重ねていく上で、気付かないことも多々あると思いますが、委員の皆さん、事務局の皆さんにご協力いただきつとめて参りたいと思いますので、協力のほどよろしく願いいたします。そういたしますと本題に入っていきます。

先ず最初に議席の決定ですが、米子市農業委員会農地部会会議規則第7条の規定により議席の決定を求めます。議席の決定は、先ほどの

抽選のとおりとしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

異議なしと認め、議席の決定は先ほどの抽選のとおりとすることに決定いたしました。それでは、議席番号と委員名を事務局に報告させます。

事務局（宅和係長）

それでは、報告いたします。1 番生田委員、2 番森田委員、3 番友森委員、4 番吉澤委員、5 番安達委員、6 番森中委員、7 番田口委員、8 番仲本委員、9 番小林委員、1 0 番新納委員、1 1 番矢倉委員、1 2 番山中委員、1 3 番井田委員、1 4 番松林委員、1 5 番大縄委員、1 6 番高橋委員、1 7 番三島委員の以上でございます。

議長（三島委員）

はじめに、議事録署名委員について、慣例により議長が指名したいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

それでは、議席番号1 番の生田委員と議席番号2 番の森田委員にお願いしたいと思います。本日は矢倉委員さんが欠席です。

では審議に入ります。初めに5 ページ議案第2 0 号をお願いいたします。農地法第3 条第1 項の規定による許可申請に対する許可について、下記申請について農地法第3 条第1 項の規定により許可したいので議決を求めます。

6 ページ番号8 の和田町について審議いたします。事務局から説明をお願いします。

事務局（河野主幹）

失礼します。番号8 の和田町について説明します。詳細は議案のとおりです。本件は、譲受人が遠方に住んでいる知人である譲渡人からの要望もあり、売買で農地を取得しようとするものです。取得後の経営面積は7 2 アールとなります。別紙3 条申請理由のとおり、農地法第3 条第2 項各号には該当しないため、許可要件を満たしていると考えます。提出書類に不備はありませんでしたので、ご審議よろしくお願いたします。

議長（三島委員）

続きまして、地元委員さんには現地調査をお願いしております。地元委員さん何か報告がございますか。

5 番（安達委員）

事務局で説明がありましたが、譲渡人は若い人ですが、元々は耕作しようとする方の隣の土地の方でして、今は若い人は県外におられます。地権者は不幸にして、若いときにお父さんやおじいさんも亡くなり土地を持っておられたのですが、近所の〇〇さんは元農協職員を早く退職されて、ネギを耕作されている方でして、奥さんも専業ですし、今は息子さんも農業を手伝っておられます。許可要件については問題ないと思っております。よろしくお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、事務局と地元委員さんからのご説明いただきました。これにつきましてご意見等ございませんでしょうか。

4 番（吉澤委員）

10アールあたり〇円というのは本当ですか。

事務局（長谷川主任）

申請される際に確認しましたが、間違いないということでございました。

高西会長

いや、間違いないはいいけど場所はどの辺になる。みんなに言ってやらんと。これだけで〇円ほどな。

5 番（安達委員）

4筆ありますが、1筆は外浜線に面した、富益と和田のちょうど町境のところで400平方メートルぐらい。あと3枚は福島運輸に面した農免道路と境線の上に土地があり、連続はしてないですがそこに3枚の畑が点在しております。位置的にはこのようなことです。1枚1枚が狭い既耕地特有の土地です。以上です。

高西会長

結局、買われた人は耕作されるわけか。

5 番（安達委員）

はい。

4 番（吉澤委員）

これは、何ぼ安くてもいいもんか。

事務局（長谷川主任）

土地の売買価格はあくまで当事者間で話し合っただけ決めるものですので、特設事務局としては高いのでは、安いのではと申し上げることはできないと思っています。

高西会長

その場合、標準価格というか参考資料があるが、あれは教えてあげようか。

事務局（長谷川主任）

3条での農地の売買は、正直言って参考になる価格がないと考えております。

高西会長

だけど、あれは年に一回でも出してないか。

事務局（長谷川主任）

あれは、路線価とか鑑定価格に基づいたものですが、あれが3条での売買の取引と比べたときに適正どうかは難しいところです。

高西会長

それが適正っていう訳でないけど、例えば後に元の地権者がだよ、知らせてくれればよかったのに一言も知らせてくれなかったと。それで2反半で〇円なんて農業委員会の参考資料ではこれこれだが、調べてからすりゃ良かったがなんとかに後からなるといけんで。事務局も農地相談とかで農地を売買されるときには、これこれがあるけんて言ってあげとけばええだけん。相談されれば事務局はその辺を考えてしてごせ。

議長（三島委員）

他にありませんか。無いようですので採決をしたいと思います、異議のない方は挙手をお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、許可と決定いたします。

続きまして、7ページ議案第21号をお願いします。農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見具申について、下記申請について、第4条第3項の規定により意見を具申したいので審議を求めます。

8ページ番号3の尾高について、地元委員さんから説明を求めます。

16番（高橋委員）

番号3の議案について説明します。申請者は議案のとおりです。申請地は、尾高の畑で面積は414平方メートルです。申請人は、尾高

のアパートに家族で生活しておりますが、この度自分の所有する土地に自己用住宅を計画したものです。農業用水路への排水同意、隣接耕作者の同意もあります。申請地は、住宅や公共用施設が連たんしている区域であり第3種農地と思われます。都市計画区域外のため開発許可は不要です。周囲は全て住宅が建っています。転用については特に問題ないと思われます。よろしくお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、地元委員さんからのご説明いただきました。これにつきましてご意見等ございませんでしょうか。

ないようですので、採決をしたいと思います。異議のない方は挙手でお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、許可申請は適当である旨の意見を付すことといたします。

続きまして、9ページ議案第22号をお願いいたします。

農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見具申について、下記申請について、農地法第5条第3項において準用する第4条第3項の規定により意見を具申したいので審議を求めます。

10ページ番号32の彦名町について、地元委員さんから説明を求めます。

7番（田口委員）

32番の議案について説明します。申請者は議案のとおりです。申請地は彦名町の畑で、面積は397平方メートルです。申請人は、夫婦でアパートで生活しておりますが、将来のことを考え利便性のよい申請地に住宅の建築を考えたものです。土地改良区の同意、隣接耕作者の同意、実行組合の排水同意もあります。申請地は、住宅や公共用施設が連たんしている区域に隣接する区域内にあり、その規模が10ヘクタール未満の農地であるため、第2種農地に該当すると思われます。開発許可は、都市計画法第34条第11号に該当することを確認済です。転用については問題ないと思われます。よろしくお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、地元委員さんからのご説明いただきました。これにつきましてご意見等ございませんでしょうか。

ないようですので、採決をしたいと思います、異議のない方は挙手でお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、許可申請は適当である旨の意見を付すことといたします。

続きまして、番号33番の大篠津町について地元委員さんお願いします。

事務局（山本主幹）

事務局が矢倉委員の代わりに説明します。３３番の議案について説明します。申請者は議案のとおりです。申請地は大篠津町の畑で面積は３８６平方メートルです。

申請人は実家で暮らしていますが、結婚に伴い家族も増えることから、実家の隣にある申請地に住宅の建築を計画したものです。土地改良区の同意、隣接耕作者の同意、実行組合の排水同意もあります。申請地は、３００メートル以内に大篠津駅がある農地で第３種農地に該当すると思われます。開発許可は、都市計画法第３４条第１１号に該当する見込みであることを確認済みです。転用については、特に問題ないと思われます。よろしくお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、ご説明がありましたが、これにつきましてご意見等ございませんか。

ないようですので、採決をしたいと思います、異議のない方は挙手をお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、許可申請は適当である旨の意見を付すことといたします。

続きまして、番号３４番の河崎について地元委員さんお願いします。

１２番(山中委員)

３４番の河崎について説明します。３４番、３５番は同じ土地ですけど３４番は奥の方ですね。農免道路沿いの土地になります。申請者は議案のとおりです。申請地は河崎の畑で面積は２９０平方メートルです。

申請人は、市営住宅に家族４人で生活しています。この１０月に退去することになりました。慣れた地区で生活したいということで今の土地を求めたということです。隣接耕作者の同意、土地改良区の同意、実行組合の排水同意もあります。申請地は駅から３００メートル以内の農地であるため第３種農地と思われます。開発許可は、都市計画法第３４条第１１号に該当することを確認済みです。転用については特に問題ないと思われます。よろしくお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、地元委員さんからのご説明いただきました。これにつきましてご意見等ございませんでしょうか。

ないようですので採決に入ります。異議のない方は挙手をお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、許可申請は適当である旨の意見を付すことといたします。

続きまして、番号３５番の河崎について地元委員さんお願いします。

1 2 番(山中委員)

番号 3 5 番について説明します。3 5 番は奥の畑です。申請人は家族 4 人で生活していますが、手狭になったということで、職場も近くですので、今の場所を求められたものです。隣接耕作者の同意、土地改良区の同意、実行組合の排水同意もあります。申請地は駅から 3 0 0 メートル以内の農地であるため第 3 種農地と思われます。開発許可は、都市計画法第 3 4 条第 1 1 号に該当することを確認済みです。転用については特に問題ないと思われます。よろしくお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、地元委員さんからのご説明いただきました。これにつきましてご意見等ございませんでしょうか。

ないようですので、採決をしたいと思います、異議のない方は挙手をお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、許可申請は適当である旨の意見を付すことといたします。

続きまして、番号 3 6 番の淀江町佐陀について地元委員さんお願いします。

1 番(生田委員)

今日視察した場所です。申請地は淀江町佐陀の畑で面積は 1, 4 5 6 平方メートルです。申請者は倉吉に本部を置く社会福祉法人で、米子でも高齢者施設や保育園を運営しております。この度、米子市が認知症の高齢者が入居するグループホームの設置・運営する法人を募集し、この法人が認められ選定を受けたため、申請地にグループホームの設置を計画したものです。

隣接耕作者の同意や農業用水路への排水同意もあります。申請地は水道管、下水管が埋設された道路に面しており、5 0 0 メートル以内に 2 つ以上の医療施設があるため、第 3 種農地に該当すると思われます。また、淀江町は非線引き都市計画区域であり、3, 0 0 0 平方メートル未満の本件は開発許可が不要です。転用については特に問題ないと思われます。よろしくお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、地元委員さんからのご説明いただきました。これにつきましてご意見等ございませんでしょうか。

ないようですので、採決をしたいと思います、異議のない方は挙手をお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、許可申請は適当である旨の意見を付すことといたします。

続きまして、番号 3 7 番の淀江町西原について地元委員さんお願いします。

1 番(生田委員)

番号３７番について説明します。申請者は議案のとおりです。申請地は淀江町西原の畑で面積は１７４平方メートルです。場所は淀江町西原の駐在所の横の道を入ったところです。申請人は申請地の隣に住んでいますが、駐車場がなく、自家用車や来客用の駐車場に困っておられ、駐車場の整備を計画したものです。農業用水路への排水同意もあります。申請地は、水道管と下水管が埋設された道路に面しており、５００メートル以内に２つ以上の医療施設があるため、第３種農地に該当すると思われます。また、淀江町は非線引き都市計画区域であり、３，０００平方メートル未満の本件は開発許可が不要です。転用については特に問題ないと思われます。よろしくお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、地元委員さんからご説明いただきました。これにつきましてご意見等ございませんでしょうか。

ないようですので、採決をしたいと思います、異議のない方は挙手をお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、許可申請は適当である旨の意見を付すことといたします。

事務局（宅和係長）

失礼します。次の番号３８の議案につきましては、申請者より計画の変更を考えたいということで、取下げが出ておりますのでよろしくお願いします。

議長（三島委員）

それでは、番号３９番の両三柳について地元委員さんお願いします。

１２番(山中委員)

３９番を説明します。２番目に現地調査したところです。申請者は議案のとおりで、申請地は、河崎と両三柳の田で面積は３，３５０．６２平方メートルです。農地以外の面積を含めると６，２３６．９９平方メートルです。申請者は、入所施設サービスの第１種社会福祉事業及び在宅サービスの第２種社会福祉事業を行っております。現在、在宅復帰できない利用者の受け入れ、医療、看護、リハビリなどほぼ全てのサービスが提供できるようになっていますが、精神的、肉体的に病弱な高齢者に対しての老人ホームがありませんでしたので、この度サービス付高齢者向け住宅の建設を計画したものです。隣接耕作者の同意、土地改良区の同意、実行組合の排水同意もあります。開発許可は、都市計画法第３４条第１４号に該当することを確認済みです。河崎の農地は２，６５０平方メートルで、概ね５００メートル以内に河崎口駅があるため第２種農地に該当すると思われます。両三柳の農地７００．６２平方メートルは、１０ヘクタール以上の農地の一団にあり第１種農地に該当すると思われます。全体の計画面積からすると約１１パーセントしかありませんので、転用については特に問題ない

と思われます。よろしくお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、地元委員さんからのご説明いただきました。これにつきましてご意見等ございませんでしょうか。

6番(森中委員)

第1種の農地の場所はどこになるのかいな。

事務局（山本主幹）

現地の②の地図を見ていただきたいですが、産業道路沿いで入り口のところです。

高西会長

ここは、何人ぐらい入るか。地元優先だと思うけども。地元の人以外はいけんって言わんわな。

事務局（山本主幹）

それはないと思われます。

12番(山中委員)

ここは、特に地区を大事にしております、地区のケア会議などはここが中心にやっております。

6番(森中委員)

1種農地に駐車場はあまり好ましくないが、まあいい。

5番(森中委員)

採決に係る質問ではないですが、この資料に町界の線を書き込んでおいて欲しかったなあ。

事務局（山本主幹）

はい、わかりました。

議長（三島委員）

他にございませんか。ないようですので、採決をしたいと思います、異議のない方は挙手でお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、許可申請は適当である旨の意見を付すことといたします。

続きまして。

高西会長

ちょっと待て。ええわ。また後から事務局に聞くけん。

議長（三島委員）

続きまして15ページ議案第23号、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農用地利用計画の一部変更に係る意見照会に対する回答について、別紙農用地利用計画の一部変更計画案について、農業振興地域に関する法律施行規則第3条の2第1項の規定に基づき意見を求めます。16ページ番号1について審議します。事務局から説明を求めます。

事務局（山本主幹）

申出者は、下新印で自動車整備工場を経営しています。工場兼事務所の敷地は整備車両の保管場所が少なく、事務所の向かい側の土地を借りて利用しています。この度、県道拡張計画により借地を返す必要が生じ、保管場所が不足することとなりました。近年整備件数も増加しており、保管スペースとして35台分確保する必要があり、事業所の拡張を計画したものです。申請地は既存の駐車場に隣接しており、保管場所として一体的に利用できるため選定したものです。

農林課の考え方ですが、申請地は事業所敷地、宅地、農地、道路に囲まれた農地であり、農用地の分断、土地利用の混在、農作業へ効率性及び担い手の利用集積への支障を来す恐れはないと考えられます。また、西、南の農地側にはコンクリート擁壁をする予定となっていること、雨水については自然流下する計画であることから変更後、隣接農地や周辺の農業用排水路への支障ありません。以上法第13条第2項各号について検証した結果、農振除外の基準を満たしており、計画変更はやむを得ないと考えております。以上、ご審議をお願いします。

議長（三島委員）

ただ今事務局からの説明がありましたが、地元委員さん補足がありましたらお願いします。

5番(森中委員)

県道の拡幅計画が決定段階であり、図面も出来ておるということもあって、先に延ばすことも出来ないということもあり、今回の申請に至ったものです。その辺も含めて審議いただきたいと思います。以上です。

議長（三島委員）

この件のついて、ご意見、ご質問などありませんか。ないようですので、採決をしたいと思います、異議のない方は挙手をお願いいたし

ます。挙手多数ということで異議なしと認め、適当である旨の回答をすることといたします。

続きまして１８ページ議案第２４号をお願いいたします。米子市農用地利用集積計画の決定について、別紙農用地利用集積計画（案）について、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定により、決定を求めます。今月は、利用権設定が３３件ございます。

それでは、利用権設定各筆明細について、２１ページ番号８－１から２２ページ番号８－６まで一括して審議いたします。事務局から説明をお願いいたします。

事務局（河野主幹）

では、利用権設定各筆明細について説明いたします。

２１ページ番号８－１から２２ページ番号８－５は、借受人の要望による貸付です。

番号８－６は、再設定です。

以上、番号８－１から番号８－６までは、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項の各要件を満たしていると考えます。ご審議よろしくをお願いします。

議長（三島委員）

ただ今、事務局からの説明いただきました。これについてご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

ないようですので採決をしたいと思います。異議のない方は挙手をお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、決定いたします。

続きまして、２４ページ利用権設定各筆明細（農地中間管理権を取得する場合）について、番号８－１から２９ページ番号８－２７までを一括して審議いたします。事務局から説明願います。

事務局（河野主幹）

鳥取県農業農村担い手育成機構が行う中間管理権の取得についてご説明いたします。

２４ページ番号８－１及び番号８－２は、地権者の意向による貸付です。

番号８－３は、相対の契約から中間管理事業への切り替えです。

２５ページ番号８－４及び番号８－５は、地権者の意向による貸付です。

番号８－６及び８－７は、相対の契約から中間管理事業への切り替えです。

26 ページ番号 8-8 は、地権者の意向による貸付です。

番号 8-9 は、相対の契約から中間管理事業への切り替えです。

番号 8-10 及び 8-13 は、地権者の意向による貸付です。

27 ページ番号 8-14 は、地権者の意向による貸付です。

番号 8-15 から 28 ページ番号 8-24、8-26 及び 29 ページ 8-27 の泉は、地権者の意向による貸付であり、中間管理機構が整備した後、担い手に貸し付ける予定です。

28 ページ番号 8-25 は、地権者の意向による貸付です。

以上、番号 8-1 から番号 8-27 まで、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の各要件を満たしていると考えますので、ご審議よろしく申し上げます。

議長（三島委員）

ただ今、事務局から説明いただきました。これにつきましてご意見、ご質問等があればお願いいたします。

高西会長

ちょっと事務局に聞いてみるけど、喜多原の分は例の大山口の地権者の何だな。

事務局（長谷川主任）

はい。

事務局（宅和係長）

少し補足をさせてください。先ほどの番号 8-11 と 8-12 について説明が漏れておりました。8-11 と 12 も喜多原でございまして、中間管理機構が他の喜多原の土地と合わせて整備をした後、担い手に貸し出す計画となっております。以上です。

高西会長

面積はどげな。

事務局（河野主幹）

面積は 46 アールです。

議長（三島委員）

他にございませんか。ないようですので採決したいと思います。異議のない方は挙手でお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、決定いたします。

次、31ページ議案第25号をお願いします。農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農用地利用配分計画に係る意見照会に対する回答について、別紙、農用地利用配分計画案について、農地中間管理事業に関する法律第19条第3項の規定に基づき意見を求めます。

32ページ番号1から34ページ番号10について、一括して審議いたします。それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局（河野主幹）

今月の農地中間管理事業利用配分計画について、耕作者選定理由をご説明いたします。

32ページ番号1は、他に耕作しようとするものがないため配分しようとするものです。

番号2及び番号3は、近隣ほ場の耕作者であるため配分するものです。

番号4及び33ページ番号5は、他に耕作しようとするものがないため配分しようとするものです。

番号6及び番号7は、近隣ほ場の耕作者であるため配分するものです。

番号8は、他に耕作しようとするものがないため配分しようとするものです。

34ページ番号9及び10は、近隣ほ場の耕作者であるため配分するものです。

番号1から番号10までの選定理由は以上です。ご審議よろしくをお願いします。

議長（三島委員）

事務局よりご説明いただきました。他にご質問等ございませんでしょうか。

高西会長

シルクファームは面積が何ぼあるか。

事務局（宅和係長）

5ヘクタールでございます。

議長（三島委員）

他にないようでございますので、採決をしたいと思います。異議のない方は挙手でお願いいたします。挙手多数ということで異議なしと認め、決定いたします。

審議事項は以上でございます。続いて報告事項に移ります。

37ページ(1)農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出書の受理について、番号8から番号22までの15件を受理しております。

続きまして、40ページ(2)農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出書の受理について、番号25から番号34までの10件を受理しております。

続きまして、42ページ(3)農地法第18条第6項の規定による通知書の受理について、番号19から番号25までの7件を受理しております。

続きまして、44ページ(4)非農地現況証明について、番号4から番号7の4件を証明しています。

続きまして、45ページ(5)農地等の現況に係る照会に対する調査結果について、鳥取地方法務局米子支局からの地目変更登記申請に係る照会に対し、2件を非農地である旨の回答をしております。

続きまして、47ページ(6)農地転用現況確認書交付について、番号14から番号23までの10件を交付しています。

続きまして、会長に県農業会議会議員の事務報告をお願いします。

高西会長

(鳥取県農業会議会議員の事務報告)

議長(三島委員)

本日の予定は以上ですが、議題など追加はありませんか。ないようですので、事務局から事務連絡をお願いします。

事務局(宅和係長)

(事務連絡)

議長(三島委員)

これをもちまして第137回農地部会を終了させていただきます。協力ありがとうございました。

閉 会 午後3時48分